

私は大阪維新の会大阪市会議員団を代表して、議案第 29 号及び議案第 30 号 地方独立行政法人大阪市立工業研究所・地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所の新設合併に関する議案について賛成の立場での討論をさせていただきます。

大阪市立工業研究所と大阪府立産業技術総合研究所の新設合併に関する法人統合に向けた議案は、昨年にもありましたが、単なる法人統合という事ではなく、双方の得意な分野と得意な支援を融合し、大阪・関西の中小製造業を高度支援することができる重要な意味を持つものと考えています。

現在、大阪の中小製造業を取り巻く環境は、内需の縮小や生産拠点の海外展開、経済のグローバル化に加え、円安による輸入原材料の高騰など、一段と厳しいものがあります。

また、中小製造業自身での経営面では、経費削減などできる限りの努力を行いながら、研究開発意欲のある多くの企業が積極的に両研究所を利用され、新たな材料・素材の開発やプロセス開発など新技術創出や製品化に向けてチャレンジされているところであります。

そこで、我らがまち大阪の中小製造業が、厳しい経済競争に打ち勝つために、経済状況に左右されることのないハイエンド(高付加価値)なものづくり、オンリーワン技術の開発、成長産業分野への参入促進など、新たな価値を創出していく支援が必要であると考えております。

両研究所の統合を早期に実現することで、統合により、トップのリーダーシップのもとでマネジメントを一元化することができ、経営資源を一体的に活用することが可能となることから、迅速な経営判断が行えるようになります。

また、ノウハウ・技術力・知財等を結集することにより、支援分野の垣根を超えた戦略的なプロジェクト研究や、スケールメリットを生かした大きな取り組みが期待できると考えます。

そして、知と技術の結集による多彩なサービスと総合的サポート体制を実現し、多様化・高度化する企業ニーズの要請に最大限お応えできる高度な支援機能をもった、これまで以上の支援機関が実現できるものであります。

大阪の中小製造業の強力な支援体制の構築のため、議員各位のご賛同をよろしくお願い申し上げます。